

# 一般質問



よりよい町にするために…



稲山良文 議員

## 直近の半年で着手・実現できる政策は?

**答** 弁 公約を施策とし、期限に従って準備を進めています

**問** マニフェストに基づき、直近の半年で着手や実現ができる諸政策と開発計画について伺います。

**答** 選挙公約は、具体的に町の施策とするよう各課に周知しました。今後、担当課と相互理解を深め、政策会議で具体策を決定していく考えです。

**問** 町政刷新会議・「すぐやる課」の設置と事業仕分けについて伺います。

**答** 設置の具体案がまとまった時点(9月中にまとめるよう総務課に指示)で協議したいと思います。事業仕分けの実施については述べていません。

**問** 街灯の防犯ブルーライト化、太陽光発電を利用した防犯灯、電球のLED化、自治会への電気料金の助成拡大について伺います。

**答** 防犯ブルーライトは引き続き研究。太陽光発電は防災との兼ね合いも含め検討、LED化は費用対効果を考え検討。なお、自治会の電気料金の助成は現行を維持していきます。

**問** 施設使用料無料化と、寄居小校庭の排水改修計画について伺います。

**答** 無料化は公共施設有効活用検討委員会を設置し、検討中です。校庭の全体的排水計画はありませんが、必要な改修は行います。

**問** 「町内循環バス」・寄居駅南口の開発事業計画と、今後の事業見直しについて伺います。

**答** 公共交通に関する議会の調査研究結果との整合性を図り、具体案の作成をします。寄居駅南口土地区画整理事業については、中心市街地の整備手法、事業費等の再検証を行い、検討したいと考えています。

▼その他の質問  
・水道基本料金の値下げについて

## 町長選



石井康二 議員

## 町長選挙、8,000票の重みは?

**答** 弁 重責を感じています

**問** 今回の町長選挙は、3人が立候補し激戦となりましたが、その結果と今後について新町長に伺います。まず、三つどもえの激しい選挙で、8,000票を超える票を獲得して初当選したわけですが、票の重みをどのように感じていますか。

**答** 重責を感じています。

**問** 町長ご自身が考えて、当選したこの大きな8,000票の分析をしてみてください。

**答** 変化にしっかりと対応し、町民の声が届く、活気あるまちづくりへの期待と分析しています。

**問** 私の分析では、前回(4年前)よりも1,000票を超える大きな票が町長の票に上積みされたように思われますが、どう考えますか。

**答** 前回の選挙から今回までの4年間の取り組みを理解していただけたと考えています。

**問** 副町長、教育長が辞職されていますが、後任人事について考えを聞かせてください。

**答** 今後町政を進めていく上で、必要なポストであると考えています。現在は考え方を公表できる段階ではありませんが、私なりに熟慮し、早い段階で関係機関と協議できるよう結論を出したいと考えています。

**問** マニフェストの実現・実行についての考え方を伺います。

**答** 1つ1つ着実に実行していくということです。

▼その他の質問  
・新町長がこれからの寄居町をどのような考え方でリードしていくのか、今後の政治姿勢について



押田秀夫 議員

## 今後の町政運営について

**答** 弁 状況を的確に取り込み、親身な町政を実現します

**問** 津久井町政16年間の評価とその改善点を伺います。

**答** 「安心と豊かさのある町」「安心と活力のある町」を第4次・第5次基本構想に掲げてまちづくりを進め、着実な発展を遂げてきました。

第5次基本構想の後期計画に、状況の変化を的確に取り込むと同時に、柔軟に対応して親身な町政を実現したいと考えています。

**問** 副町長・教育長の人事について伺います。

**答** 町政を進めていく上で必要なポストであり、早い段階で結論を出したいと考えています。

**問** 合併しない自立都市「寄居」のまちづくりを目指していますが、合併しないメリットと、そのために何が必要だと考えていますか。

**答** メリットは、町の特徴や資源を生かしたまちづくりが行われ、いわゆる「顔の見える行政」が進められることです。

そのためには、まず自主財源の確保、次に町民の方々との協働であると考えています。

▼その他の質問  
・用土保育所・用土コミュニティセンターの建て替えについて



大平久幸 議員

## 町長選の勝因、どう捉えるか

**答** 弁 期待の結果であると理解しています

**問** 町民は、島田新町長に寄居町のリーダーを託しました。まず、8,008票の得票とその勝因の分析について伺います。

**答** 厳しい戦いの中、着実な付託をいただいたもので、勝因については、「新しい視点でのまちづくりを進めてほしい」という期待の結果である」と理解しています。

**問** 「流れを変える。寄居を変える」とありますが、流れをどのように変え、町民の暮らしにどう生かすのですか。

**答** まず、町民の声をよく聞くこと、町民参加の仕組みをつくること、さまざまな町の資源を有効に活用することです。結果、親身な町政が実現され、活気にあふれ、その先には人が大勢訪れ、さらに人が住み続ける町が待っていると考えます。

**問** 町政運営の理念として、①町民の声を聞く ②町民参加 ③町は経営 ④親身になって奉仕をする役場へとありますが、その取り組みは。

**答** ①タウンミーティング・出前町長室など ②まちづくりセンター、教育・食育サポートセンター、町政刷新会議など ③戦略的な事業展開、予算執行にメリハリ、優先順位の決定など ④すぐやる課や就職支援センターの設置などを考えています。

**問** 2013年に稼働するホンダ寄居新工場と、当町のかかりについて伺います。

**答** 3年後の稼働が公式決定し、今後は関連の動きを各分野において的確にとらえ、寄居町が発展できるよう努力していきます。

## 町政運営

## まちづくり